

春闘勝利・ベア獲得貨物東海支社前行動を開催！

2月27日（水）12時15分より、国労東海本部主催「19春闘勝利・ベア獲得貨物東海支社前行動」が開催され、貨物組合員及び名古屋、静岡、新幹線各地方本部の旅客組合員を含め総勢約60名が結集しました。

東海支社前集会は東海貨物協議会大金副議長の司会ではじまり、主催者である東海本部長岡委員長から「19春闘の闘い、国内政治情勢」について、全国貨物協議会因泥事務次長から「貨物会社を巡る情勢、人事賃金制度、各職場の労働実態、組織強化・拡大」について挨拶を受け、各地方本部を代表して名古屋地方本部亀井執行委員長、静岡地方本部植田書記長、新幹線地方本部柴田執行副委員長から連帯の挨拶を受けました。東海貨物協議会鈴木議長からは、「春闘申し入れの状況、国内の春闘情勢、貨物会社の実態と社員の現状、人事賃金制度、各職場における要員不足及び技術継承問題、青年労働者の労働条件向上に向けての道筋」等について報告と挨拶がされ、ベア満額獲得を目指し、貨物社員が安全・安心して働き続けられる環境と労働条件の改善に向け闘う決意が表明されました。



続いて、東海貨物協議会小川副議長の発声でシュプレヒコールを行い、JR貨物東海支社に対し労働者の怒りを訴え、最後に東海本部上野書記長の力強い「団結ガンバロー」で貨物東海支社前行動を終了しました。

午後からは名古屋牧野コミュニティセンターへ場所を移し、上野書記長及び貨物組合員25名が結集する中、「2019春闘学習会」が開催されました。鈴木議長からは「貨物会社を巡る情勢、19春闘に対する各地方における宣伝行動への参加、ダイヤ改正関係、組織強化・拡大」等について挨拶され、全国貨物協議会因泥事務次長からは「貨物会社の状況、春闘交渉の経過や行動、春闘個人署名、各系統の要員不足問題、貨物会社の体力、貨物労組の動向と組織拡大」等について挨拶されました。

19春闘学習会は、引き続き因泥事務次長を講師に『貨物会社が導入を目指す「新しい人事制度」の狙いと問題点について』と題し、「新しい人事制度の導入を巡る経過とその背景にあるJR貨物の経営状況」「新しい人事制度の特徴」「新しい人事制度の狙いと問題点」について講義され、国労の基本的な要求として、①公平・公正な昇進制度の実施、②55歳賃金ダウンの解消、「真の60歳定年制」の確立、③年金支給開始年齢の段階的引き上げを踏まえた「65歳定年制」の実現、④第二基本給制度の廃止、⑤7等級までの自動昇格制度の確立、また今後の課題として、①国への要請をはじめとした政策学習会の強化、②他労組を巻き込んだ学習と宣伝の強化、③要求の多数派を目指す取り組みの強化、④国労加入を訴える取り組みの強化-が提起されました。

学習会における質疑応答では、組合員から様々な問題点と質問が出され議論を深めてきましたが、国労として基本要件に対する交渉が残っており、人事賃金制度に対する全てが解明されていないため、本部から回答が出されなかった項目については、後日回答を受けることとして学習会は終了しました。



学習会終了後の懇親会では、職場の問題や運動に対する議論が白熱し、親交と団結を深める中で労働条件改善と更なる組織拡大、貨物労働者の生活を守るため客・貨一体となりベア満額獲得に向け奮闘することを誓い合い、「19春闘勝利・東海支社前行動及び春闘学習会」は無事終了しました。行動に結集された組合員の皆さん、大変ご苦勞様でした。